

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	講義	講義時期	後期	
授業科目	建築デザイン史	担当者	大城 美由紀	科目必修区分	必修	
授業概要	近代建築の意匠を中心に、現代建築の造形を理解するための基礎を解説する。					
到達目標	近代建築運動の主要の流れとその代表作が時代に反映、影響を及ぼした歴史を述べることができる 近代3大建築家の作品を述べるができる					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	授業導入【衣・食・住】【デザイン史】について			3	
	2	産業革命～芸術運動アーツ&クラフト運動			3	
	3	芸術運動アールヌーボ、アールデコ			3	
	4	芸術運動～バウハウス、			3	
	5	モダニズムと近代建築3大建築家			3	
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			1	合計時間数	15
教科書	図説 建築の歴史【学芸出版】					
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習					
成績評価方法	評価テスト:80%、授業取り組み:20%					
	学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築環境工学		担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	人々が快適に過ごせるよう、建築における日照・採光・温熱環境の原理を学び、快適な室内環境をつくるための知識を身につける。					
到達目標	光、温熱、空気、音が住まいの環境にどのように影響を与えるのかを理解し、住宅規模の設計に応用出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	住まいを取り巻く環境について 自然と暮らし・現代住まいと環境計画 no1 【ワーク①】沖縄の環境を読み解く				3
	2	光環境 照明 no2 【沖縄の家ワーク②】風の設計				3
	3	光環境 自然照明・人工照明 no3 【沖縄の家ワーク③】日射と遮熱				3
	4	温熱環境 温度と熱移動 no4 【沖縄の家ワーク④】湿気・カビ対策				3
	5	温熱環境 室温と熱負荷 no5 【沖縄の家ワーク⑤】台風・塩害対策				3
	6	温熱環境 湿度と結露 no6 【沖縄の家ワーク⑥】最終設計				3
	7	温熱環境 太陽と日射 no7&8				3
	8	空気環境 室内の空気を汚染する物質 no9&10				3
	9	中村家住宅見学				6
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			2	合計時間数	30
教科書	図説やさしい建築環境(学芸出版)					
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習					
成績評価方法	期末テスト:70%、毎回のレポート提出:20%、授業態度:10%					
	学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	建築一般構造	担当者	大城 美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	各種構造方式の木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート造などの概要を講述する。				
到達目標	各種構造の名称・構成・特性を理解できる・構造の基本的な考えを理解し、設計演習に連携させながら柱割りができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	建物にはたらく力			2
	2	地震に対する対策			2
	3	建物全体の構造計画			2
	4	木材			2
	5	木造の基礎知識			2
	6	在来工法			2
	7	枠組壁工法			2
	8	鋼材			2
	9	鉄構造の基礎知識			2
	10	鉄骨構造			2
	11	コンクリートと鉄筋			2
	12	鉄筋コンクリート造の基礎知識			2
	13	鉄筋コンクリート造			2
	14	壁式鉄筋コンクリート造／補強コンクリートブロック造			2
	15	基礎／地盤			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	科目単位数		2	合計時間数	30
教科書	特になし、参考文献【「構造用教材」 日本建築学会・「図説 やさしい建築一般構造」専門課程 建築構造」学芸出版】				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	期末テスト80%、授業取り組み20%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築材料学	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	建築物を構成する材料。主にセメント・コンクリートを中心に金属材料・木材などの諸性質について解説する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・木材、セメント・骨材・コンクリート、鉄筋、石、ガラスなどを中心に基礎的な性質を総合的に習得できる ・建築用途に合致したものを選定する知識と同時に外部・内部空間を構成するエレメントの概要を習得できる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	木材の特徴と種類、木材の性質、合板(ベニヤ)・集成材、エンジニアリングウッド(加工木材)			4
	2	壁下地材の特徴と種類 ・軽天間仕切及び木間仕切(骨組み材・貼り材)、木質系ボードの特徴と種類			4
	3	コンクリートの特徴と種類、調合、混和材料、物性、施工と養生、二次製品(プレキャスト、プレストレス、CB)			4
	4	鋼材の特徴及び腐食・その他の金属材料、石材:特徴と種類			3
	5	ガラス・タイル:特徴と種類、施工方法			3
	6	高分子系材料・塗料:材料と種類、左官材料:材料と種類			3
	7	ボード類:石膏系、その他断熱材:セメント系			3
	8	建材を取り扱っている企業見学・現場見学(建材、新材説明)			6
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	科目単位数		2	合計時間数	30
教科書	図説 やさしい建築材料(学芸出版社)、 参考文献【マテリアルデザイン 建築の素材・材料チェックリスト・ディテール(彰国社)・「図説 やさしい一般構造」(学芸出版社)】				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	期末テスト70%、小テスト25%、授業取り組み5% 学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	演習	講義時期	前期
授業科目	基礎製図演習	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	建築製図の基礎的演習として各種建築図面の手描きトレースを行い、作図スキルを磨く。				
到達目標	①設計図面を的確に表現するための設計図面の作図上の約束事を理解し、作図出来る。 ②基礎図面(配置図、平面図、立面図、断面図)を読むことが出来、作図出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	製図の目的と製図用具の説明、設計図面の種類の説明、線と設計図面との関係、製図の技法:線の引き方、線の練習			3
	2	①線の練習 ー平行線と斜め線ー ②線の練習 ー円と直線の組み合わせー			3
	3	③開口部の表示記号 ー出入り口・窓の図面表現ー			3
	4	③開口部の表示記号 ー出入り口・窓の図面表現ー S=1/100			3
	5	④RC住宅1階平面図 S=1/100 トレース 住吉の長屋			3
	6	④RC住宅1階平面図 S=1/100 トレース			3
	7	⑤RC住宅1階平面図 S=1/100 トレース			3
	8	⑤RC住宅平面図断面図・立面図 S=1/100 トレース			3
	9	⑤RC住宅平面図断面図・立面図 S=1/100 トレース			3
	10	⑤RC住宅平面図断面図・立面図 S=1/100 トレース			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	科目単位数		1	合計時間数	30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応。 参考文献【新しい建築製図(美術出版)、初めての建築製図(学芸出版社)、建築製図演習教本(彰国社)、建築設計演習 基礎演習(彰国社)】				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	演習	講義時期	前期	
授業科目	建築CAD演習	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修	
授業概要	各種基本設計図面のCAD操作を実習指導する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2次元CADによる基礎操作がスムーズにできる。 ・RC造(S=1/100)から平面詳細図、立面図などに展開するために必要となる「実施設計」の図面作成技術をCADを利用して描写することができる 					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	オリエンテーション:授業内容、(CADの基本操作(1)=作図環境、2次元図形の基本的作図、作図コマンドと編集コマンドの基本操作1:直線・矩形・コーナー・包絡・複線)			6	
	2	作図コマンドと編集コマンドの基本操作2:線種変更、レイヤ変更、線角・鉛角			5	
	3	作図コマンドと編集コマンドの基本操作3:基点変更・一括処理(伸縮、消去)			5	
	4	作図コマンドと編集コマンドの基本操作4:線色分け、円・円弧・面取り			5	
	5	建設現場に必要な実施設計図面の概要説明。			1	
	6	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50)、反復練習			16	
	7	断面を考え、断面図を理解する			3	
	8	専用住宅のRC造立面図作図(1:50)、反復練習			16	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			1	合計時間数	57
教科書	特になし。 参考文献【やさしく学ぶJw-cad7(エクснаレッジ)・やさしく学ぶJw-cad☆デラックス(エクснаレッジ)】					
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習					
成績評価方法	提出物70%、授業取り組み30%					
	学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	構造力学 I		担当者	上原 利公	科目必修区分	必修
授業概要	構造力学の基礎、断面の性質、建築構造物を合理的かつ経済的に設計するための基礎となる力学について講述する。					
到達目標	1)力のつりあいと荷重の種類を理解し、建物に作用する応力(ストレス)を理解できる。 2)応力を理解して応力図の作成できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	自己紹介(講師・生徒)・力の基礎				2
	2	力の基礎・力の釣り合い				2
	3	力の釣り合い・反力:構造物の分類と表現				2
	4	単純梁反力				2
	5	等分布・ねじれ・片持ち梁反力				2
	6	張り出し・ラーメン反力				2
	7	復習問題				2
	8	中間テスト 部材に生じる力(基礎編)				2
	9	部材に生じる力(基礎編)				2
	10	部材に生じる力(基礎編)				2
	11	部材に生じる力(応用編)				2
	12	部材に生じる力(応用編)				2
	13	トラスとは、トラス(節点法)				2
	14	トラス(図解法・切断法)				2
	15	テスト前復習				2
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			2	合計時間数	30
教科書	「図説やさしい構造力学」 学芸出版社					
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習					
成績評価方法	授業取り組み30%、中間テスト35%、期末テスト35%					
	学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	建築計画 I	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	建物の設計の基本や計画手法を、座学と事例分析を通して学び、寸法や生活に基づく考え方、国内外の名住宅を理解する。				
到達目標	①計画に必要な単位、寸法を使い、住居系の簡易的な平面計画が出来る。 ②名建築の設計意図を平面形式に基づいて読み取ることが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	建築計画について、住宅の歴史+9坪ハウス設計			3
	2	単位と寸法、人体寸法、動作寸法+9坪ハウス設計			3
	3	モジュールとモジュラーコーディネーション、グルーピングとゾーニング+9坪ハウス設計			3
	4	各部の計画+9坪ハウス設計			3
	5	単位空間の計画+9坪ハウス設計			3
	6	独立住宅 平面計画			6
	7	9坪ハウス設計			3
	8	独立住宅事例 見学			6
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	科目単位数		2	合計時間数	30
教科書	住まいの建築計画(学芸出版)				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	授業取り組み:20%、課題提出:80%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	実習、演習	講義時期	前期
授業科目	設計演習 I	担当者	比嘉 健矢・新垣 弘志	科目必修区分	必修
授業概要	建築設計の第一歩である最も身近な建築である「住宅・別荘」「店舗」の設計課題に取り込む。				
到達目標	①敷地調査、プランニング、作図、プレゼン表現を経験し、設計の工程を説明出来る。 ②住宅規模、店舗の基本設計が出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	課題オリエンテーション:「住宅」の設計課題について、課題目的・設計条件・必要諸室・要求図面などの説明。			3
	2	リサーチ事前準備および注意事項の説明、計画地リサーチ(読谷村)			6
	3	テーマ・コンセプトに基づくのエスキース			12
	4	平面計画についてのエスキースと平面図清書			6
	5	断面計画についてのエスキースと断面図清書			12
	6	平面図・立面図・断面図の着色とプレゼンテーションの準備			12
	7	プレゼンテーション			3
	8	課題オリエンテーション:「店舗」の設計課題について、目的・設計条件・要求図面の説明。テーマ・コンセプト作成			3
	9	テーマ・コンセプトに基づくのエスキース			14
	10	エスキース、平面計画についてのエスキースと平面図清書			19
	11	室内・ファサード計画についてのエスキースと清書			15
	12	室内・ファサードの透視図作成、透視図の着色とプレゼンテーションの準備			18
	13	プレゼンテーション			3
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	4	合計時間数	126
教科書	住まいの建築計画(学芸出版) 教務作成の設計データなどを含む資料を配布・製本化したマニュアル冊子をテキストとして使用し解説を加える。				
時間外学習	各自、課題のブラッシュアップ時間を設ける。				
成績評価方法	課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:20%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	一級建築士事務所 2年勤務、内装工事にかかる造作、施工会社 14年勤務				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次		授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	設計演習 II		担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	住宅・店舗設計の学習を通して、人の生活行為と街とのつながりや公共性を捉え直し、再定義した設計力を養う。					
到達目標	①周辺環境、敷地環境を読み取り、コンセプト立案・住空間を計画が出来る。 ②1/50の模型を制作出来る。 ③1/100の基本図(配置図、平面図、断面図、立面図)を作図出来る。 ④Illustrator、Photoshopを駆使したプレゼンボードを作成出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	課題オリエンテーション:課題目的・設計条件・必要諸室・要求図面などの説明、計画地現地調査				6
	2	設計コンセプト/建築的手法概要オリテ/エスキース1の作成:平面を中心とした概略エスキースを作成する				6
	3	エスキース1:平面を中心とした概略エスキースを作成する。				6
	4	エスキース2:機能的処理(動線計画)を中心としたエスキースを作成し、空間チェックも含め個別指導する。				6
	5	エスキース3:平面計画と合致した検討用の模型制作(スタディ模型制作)、立面エスキースの作成				6
	6	エスキース4:スタディ模型と照合しながらの断面エスキース				3
	7	各階平面図の清書				6
	8	立面図清書 断面図清書				6
	9	完成予想CAD入力表現				12
	10	完成予想模型製作(S=1/50)・透視図作成				38
	11	プレゼンボード制作				18
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	科目単位数			3	合計時間数	113
教科書	住まいの建築計画(学芸出版) 教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 参考文献【「建築設計資料作成」:丸善 「建築設計資料」:建築資料研究社】					
時間外学習	各自、課題のブラッシュアップ時間を設ける。					
成績評価方法	課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:20% 学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	図学(ドローイング)	担当者	新垣 弘志	科目必修区分	必修
授業概要	鉛筆による立体描写に始まり、平面図・立面図・展開図からパースラインを意識した透視図の簡略図法(M点法)、2消点簡略図法そして着色トレーニングを課題とする				
到達目標	フリーハンド立方体描写により、1消点、2消点と鉛筆の表現方法を習得する。内観図＝平面図、展開図、天井伏図よりM点法のパースを理解する。外観図＝平面図、立面図、断面図より外観2消点簡略法を学ぶ。内観透視図と外観透視図着色技法(色鉛筆、マーカー)を学ぶことにより、物体の形態、陰影、質感に留意し描写力を高め、頭に浮かんだイメージを実際にパースラインを意識した立体構想力を養うことを目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	鉛筆による立方体の描写、視点の違いによる立方体の作図及び陰影			3
	2	都市のフリーハンド鳥瞰図、室内に置かれた椅子・卓子			3
	3	室内の自由なテーマによる内観スケッチパース			3
	4	透視図作図(面の分割、増殖等)の考え方と実践応用			3
	5	平面図・立面図から、外観M点法2消点基本透視図・屋根勾配の作図			3
	6	平面図・立面図から、外観M点法2消点応用透視図作図及び点景			3
	7	平面図・展開図から内観M点法1消点基本透視図・階段の作図			3
	8	平面図・展開図から内観M点法1消点応用透視図作図及び点景			3
	9	外観、内観透視図の色鉛筆、マーカーによる着色			3
	10	3Dソフト「スケッチアップ」の使い方及び作図			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	1	合計時間数	30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応。 参考文献【「現代パースの基本と実際」株式会社 グラフィック社】				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	課題提出:70%授業態度:30%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	色彩学	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	色彩は生活の快適さに大きく影響する。配色理論や色のイメージを学ぶことで、誰でも色選びがしやすくなる。				
到達目標	①配色を理解し生活をより快適に過ごすためのインテリアコーディネートに応用できる。 ②景観に配慮した建築色彩を表現できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	色彩の導入演習課題配布説明			2
	2	第1章光り成り立ち第2章混色			2
	3	第2章色の表示方法第4章_色の知覚的効果			2
	4	第4章色の心理的効果第6章 色彩調和			2
	5	第5章色の心理的効果			2
	6	第6章色彩調和			2
	7	第1章～3章まとめ問題と解説			2
	8	第4章～5章まとめ問題と解説			2
	9	第5章～6章まとめ問題と解説			2
	10	色彩士検定の問題の解説			6
	11	色彩士検定模擬テスト			2
	12	色彩士検定模擬テスト解説①			2
	13	色彩士検定模擬テスト解説②			2
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	1	合計時間数	30
教科書	Color Master BASIC 【アデック】				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	期末テスト:80%、授業取り組み:20% 学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	モデリング	担当者	内間 直樹	科目必修区分	必修
授業概要	図面から立体を想像し表現する力を養い、材料や工具の特性・使い方を学び、目的別模型の種類を理解する。				
到達目標	2次元の図面(平面・立面・断面)に描かれた空間や立体物を読み取り、より正確にきれいに思い通りの立体物として作成することができるようになる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業概要の説明、模型の目的別、範囲別の種類の説明			3
	2	2次元の読み方、スチレンボードを使用して特性の説明・基礎練習(切る、貼る、曲げる)			3
	3	2次元の読み方、スチレンボードを使用して特性の説明・基礎練習(直方体 作成)・(円柱 作成)			3
	4	図面の整合性についての理解、入り隅部分の説明と理解(L型 1/100 簡易 住宅模型)			9
	5	実践 1/100 住宅模型 制作(住吉の長屋:安藤忠雄)			12
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	科目単位数		1	合計時間数	30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応。				
時間外学習	授業で作成した制作物のブラッシュアップを行う。				
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	インテリア計画	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	演習を通してインテリアの平面計画を学び、ショップ見学でアイテムや素材への理解を深める。				
到達目標	①空間における寸法の重要性を理解し、採寸する癖を身につける。 ②小規模空間のインテリア計画を経験する。 ③3つ以上のインテリアアイテムおよびデザイナーを言える。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	インテリアデザイナーの分類、課題説明、採寸演習			4
	2	インテリアショップ見学①			6
	3	インテリア計画のポイント、お友達インタビュー、インテリアショップ見学②			6
	4	平面計画 作図			6
	5	平面計画 着色			3
	6	プレゼンテーション			2
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	1	合計時間数	27
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応				
時間外学習	各自でインテリアショップ見学を行い、インテリア計画のプレゼン資料作成の時間を設ける。				
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	一級建築士事務所 2年勤務				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	グラフィックデザイン演習	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	illustratorやPhotoshopの基本操作を身につけ、写真加工やレイアウトの基礎を学ぶ。				
到達目標	①illustratorを使用して、図面、パース、写真、テキストを一つの誌面にレイアウト出来る。 ②Photoshopを使用して手書きパースに着色出来る。また、簡易的な画像合成が出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	illustrator基本操作・各種ツールの使い方			3
	2	illustrator基本操作・各種ツールの使い方			3
	3	illustrator基本操作・レイアウト基礎			3
	4	illustrator基本操作・レイアウト基礎・課題提出①(レストランメニューレイアウト)			3
	5	Photoshop基本操作・各種ツールの使い方			3
	6	Photoshop基本操作・各種ツールの使い方・課題提出			3
	7	Photoshop基本操作・写真や画像の加工・課題提出②(手書きパース着色)			3
	8	Photoshop基本操作・写真や画像の加工・課題提出②(手書きパース着色) ・課題提出			3
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	1	合計時間数	24
教科書	適宜、参考資料を配布				
時間外学習	課題のブラッシュアップを行う。				
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	家具制作	担当者	山城 豊	科目必修区分	必修
授業概要	家具を設計・制作することで人体寸法を理解し、インテリア空間を読み取る考察力を身につける。同時に木材の知識を深め、加工方法や家具の構成を学ぶ。				
到達目標	○今後作品制作に必要となる基本的な知識と技術を習得する事が出来る。 ・資材の特徴、購入先さらに家具販売店の状況を学ぶ ・資材加工機械の操作、道具を正しく安全に使用する事を学ぶ				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーションⅠ → 自己紹介と授業の流れ			3
	2	オリエンテーションⅡ → 資材販売店、家具販売店の見学			3
	3	簡単な箱物製作→各機械指導			3
	4	簡単な箱物製作→各機械指導			3
	5	家具制作→本題 アイデア出し			3
	6	家具制作→アイデア出しと各種機械指導			3
	7	家具制作→資材加工・組立			3
	8	家具制作→資材加工・組立			3
	9	家具制作→仕上げ→塗装			3
	10	家具制作→仕上げ 講評			3
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	1	合計時間数	30
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応				
時間外学習	授業内に終わらなかった制作物を仕上げる。				
成績評価方法	授業への取り組み20%、課題提出80% 学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	通年	
授業科目	総合学習 I	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修	
授業概要	専門知識と技能・技術以外の人間性を育み社会人基礎力の3つの能力を育成する					
到達目標	3つの能力 ①「前に踏み出す力」、②「考え抜く力」、③「チームで働く力」					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	オリエンテーション			36	
	2	新入生歓迎球技大会			6	
	3	秋季レクレーション			6	
	4	始業日、就業日(大掃除含む)			2	
	5	検定、学期末テスト			9	
	6	金融トラブルセミナー			2	
	7	IA科展示会			24	
	8	卒制・進級制作プレゼンテーション			30	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			3	合計時間数	115
教科書	なし					
時間外学習	到達目標である「3つの能力」を意識して日々の生活を送る					
成績評価方法	学習態度:100%					
	学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	志学 I		担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	「組織」の中でやりがいや目標などを立てる方法などを身につける。 「人」としての「在り方」を考えて人生の中で「幸せ」を築く方法を身につける。					
到達目標	①志学テキストや学生クレドを理解し行動できる。 ②働くことの意味や業界の職種と内容について考え、将来像をイメージ出来る。 ③企業リサーチの手段を理解し、実践できる。 ④電話掛け、名刺の受け渡しなど対人におけるビジネスマナーの基礎が出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	「志」学の狙い、学習目標				3
	2	「第1章」感謝、「第2章」感動				3
	3	「第3章」思いやり、気配り、「第4章」明朗				3
	4	「第5章」挨拶				3
	5	「第6章」素直				3
	6	「第7章」プラス思考				3
	7	「第8章」チャレンジ精神、「第9章」永久戦力				3
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			1	合計時間数	21
教科書	志学I・II (KBC学園発行)					
時間外 学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価 方法	レポート・課題提出:30%、学習態度:70%					
	学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	キャリアデザイン I	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	企業訪問や就職実務を通して、仕事の内容や責任、社会人としての基礎を学び、前向きに就職活動を進める力を身につける。				
到達目標	①働くことの意味や業界の職種と内容について考え、将来像をイメージ出来る。 ②企業リサーチの手段を理解し、実践できる。 ③電話掛け、名刺の受け渡しなど対人におけるビジネスマナーの基礎が出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	就職活動の流れ(就職担当職員より)			2
	2	ビジネス敬語			2
	3	電話がけ練習			2
	4	ビジネスメール文			2
	5	履歴書の書き方・ポートフォリオについて			2
	6	企業リサーチ			2
	7	インターンシップ先企業アポイントとり			2
	8	センスアップセミナー事前練習(指導:AM就職担当職員、PM担任)			6
	9	センスアップセミナー			6
	10	インターンシップ準備 ・心構え			4
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	1	合計時間数	30
教科書	KBC学園就職活動の進め方(オリジナルテキスト)				
時間外学習	自己分析を行い、今後のキャリアプランを考え、企業リサーチの時間を設ける。				
成績評価方法	レポート・課題提出:30%、学習態度:70%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期	
授業科目	建築法規	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修	
授業概要	住居・商業・文化施設などの建築に関する法規や基準を学び、理論と実務への活用を理解する。					
到達目標	建築基準法で規制される諸規定・規準を理解し定義、法文の正しい読み方が理解できる					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	建築法規の体系と用語について(用語の定義・面積・高さ・階数の算出)			4	
	2	単体規定(天井高さ・階段・避難・採光・換気)			5	
	3	単体規定(耐火建築物・防火区画)			4	
	4	集団規定・都市計画(道路・敷地・用途地域・建ぺい率・容積率・建物高さ)			5	
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			1	合計時間数	18
教科書	やさしい建築法規(学芸出版社)・建築基準法関係法令集(建築資料研究社・総合資格学院) 参考文献【建築法規用教材(日本建築学会) イラストでわかる建築基準法(株式会社 ナツメ社)】					
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習					
成績評価方法	期末テスト70%、小テスト25%、授業取り組み5% 学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築設備	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	電気設備、給排水・衛生設備、空気調和設備、防災設備、搬送設備等テキスト及び実物の見学も含め学習する。				
到達目標	・建築空間の制御を行う建築設備全般について理解できる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	建築設備の基礎事項。エネルギー利用技術			2
	2	給排水衛生設備:給水、給湯設備、排水、通気システム			4
	3	給排水衛生設備:衛生設備器具、雨水排水システム、ガス設備、浄化槽			2
	4	空気調和設備:空気設備の歴史、空調設備計画、空調方式			2
	5	空気調和設備:換気、ヒートポンプ、タスク・アンビエント空調			2
	6	空気調和設備:住宅設備、設備更新			2
	7	電気設備:電気設備の概要、照明、防災設備			2
	8	電気設備:受変電設備、幹線・配線設備、予備電源、照明器具			2
	9	電気設備:搬送設備(エレベーター・エスカレーター・ダムウエター)			2
	10	防災設備:感知通報、消火、避難誘導設備			2
	11	エネルギーシステムについて			2
	12	太陽光発電システム、風力発電			2
	13	設備の保全・維持管理について			4
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	科目単位数		2	合計時間数	30
教科書	「図説 やさしい建築設備」:学芸出版社				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	期末テスト70%、小テスト25%、授業取り組み5%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	建築設計事務所 20年勤務				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	建築施工	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	建築物が完成するまでの流れを、用語・施工方法・技術の基礎から体系的に学び、建築施工の基本を理解する。				
到達目標	・建築物の構築の流れ、設計監理としての確認事項等を理解できる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	総論 建築主、設計者、施工者、契約、請負、施工管理、施工計画、躯体工事などの建築施工の全体の流れなどを概説する。			2
	2	入札方法、契約方法など請負の流れについて			2
	3	積算について(工事費の内訳、積算拾い出しの種類)			2
	4	現地調査、施工計画書、工程表の作成・種類			2
	5	施工管理、安全衛生管理体制、作業主任者			2
	6	地盤調査、仮設工事			2
	7	土工事			2
	8	基礎・杭工事			2
	9	鉄筋コンクリート工事			2
	10	型枠工事			2
	11	コンクリート工事			2
	12	コンクリートの欠陥			2
	13	プレキャストコンクリート工事			2
	14	解体工事			2
	15	鉄骨工事			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	2	合計時間数	30
教科書	「図説 やさしい建築施工」 学芸出版				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	期末テスト70%、小テスト25%、授業取り組み5% 学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	後期	
授業科目	西洋・日本建築史	担当者	新垣 弘志	科目必修区分	必修	
授業概要	西洋建築の様式や背景(美術・宗教・生活など)と、日本建築の造りや特徴を、テキストと映像で分かりやすく解説。					
到達目標	各時代の各地域の様式的な特徴を理解する。また、各様式建築の空間構成の特質や、用途、機能や構造条件を満たすそれぞれの時代、地域の技術的な特色を理解する。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	古代ギリシャの神殿建築および公共的建築／古代ローマの歴史と建築概要、諸様相			3	
	2	美の構成要素:自然界、古代から現在のデザインまで／黄金比、白銀比			3	
	3	初期キリスト教建築とビザンチン建築			3	
	4	ロマネスク建築の空間構成の特徴／ゴシック時代の空間構成の特徴①			3	
	5	ゴシック時代の空間構成の特徴②／ルネッサンス建築の空間構成の特徴①			3	
	6	ルネッサンス建築の空間構成の特徴②／バロック建築の空間構成の特徴			3	
	7	新古典主義の建築、歴史主義建築、アールヌーボー、ユークレントシュティール			3	
	8	古墳時代の住居／飛鳥奈良時代の寺院、平安時代の寺院			3	
	9	奈良平安時代の神社／宮殿と都城・寝殿造／中世／大仏様・禅宗様・座敷の成立・民家			3	
	10	近世の日本建築／城郭建築・書院造・数寄屋造／琉球における集落と風水			3	
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			2	合計時間数	30
教科書	「図説 建築の歴史 西洋・日本・近代」:学芸出版社 参考文献【「西洋建築様式史」:美術出版社】					
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習					
成績評価方法	期末テスト80%、授業取り組み20% 学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期	
授業科目	設計演習Ⅲ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修	
授業概要	建築設計の基礎を学び、動線計画から空間構成・形態、利用者心理や環境配慮まで設計プロセスを考察する。					
到達目標	①市場調査、敷地調査から分析・推論し仮説を立てることができる。 ②解決提案は問わないが、建築空間からインテリア空間まで実現可能を原則として、技術・知識を述べることができる。 ③集大成となる作品のため、これまでの経験を活かしてプレゼン表現ができる。 ・各種建築物の計画について、機能・構造、設備の基本的諸要因と計画方法を踏まえ、地域社会や利用する目線になって設計を描写することができる					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	建築計画演習のオリエンテーション・現地調査			6	
	2	敷地調査及び市場調査			9	
	3	平面エスキース			9	
	4	各階平面図作図			15	
	5	断面図・立面図作図			18	
	6	配置図兼屋根伏せ図作図			9	
	7	平面図・断面図・展開図及びスケッチパースにてプレゼンテーション			6	
	8	模型制作又は3DCG作図			23	
	9	プレゼンボード作成			23	
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	科目単位数			3	合計時間数	118
教科書	参考文献【「建築計画」:実業出版「建築設計資料作成」:丸善 「建築設計資料」:建築資料研究社】 月刊誌など					
時間外学習	各自、課題のブラッシュアップ時間を設ける。					
成績評価方法	課題提出35%、発表・クオリティ35%、授業取り組み30% 学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期	
授業科目	設計演習Ⅳ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修	
授業概要	2年間の学習成果として、自らテーマを設定し、自然・都市・歴史を読み解き、公共性を意識した設計を考察する。					
到達目標	ヒアリング・現場調査・フィールドワークを通して地域社会および利用者の視点を踏まえた設計ができる。加えて、グループでの役割分担のもと設計プロセスを円滑に遂行し、クライアントに分かりやすい資料として提案内容を表現できる。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	建築計画演習のオリエンテーション・現地調査			7	
	2	敷地調査及び市場調査			7	
	3	平面エスキース			7	
	4	各階平面図作図			12	
	5	断面図・立面図作図			24	
	6	配置図兼屋根伏せ図作図			10	
	7	平面図・断面図・展開図及びスケッチパースにてプレゼンテーション			10	
	8	模型制作又は3DCG作図			15	
	9	プレゼンボード作成			15	
	10	プレゼンテーションボード及びパワーポイントにて発表と審査講評			8	
	11	※地域を限定し環境を踏まえ提案していく授業展開もあり				
	12	校外実習的な動きも出てくる				
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		科目単位数	3	合計時間数	115	
教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 参考文献【「建築計画」:実業出版「建築設計資料作成」:丸善 「建築設計資料」:建築資料研究社】					
時間外学習	各自、課題のブラッシュアップ時間を設ける。					
成績評価方法	課題提出35%、発表・クオリティ35%、授業取り組み(創意工夫・チームワークなど)30% 学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	BIM演習	担当者	新垣朝憲・比嘉健矢	科目必修区分	必修
授業概要	Vectorworksソフトを使い2次元から3次元の作図する。BIMの特徴である図面からモデリングの視覚化の表現を身につける。				
到達目標	①建築講義や設計などの表現手法として応用できる。 ②床面積50㎡程度の住宅の図面一式を描けることができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	レッドアンドブルー作図①			3
	2	レッドアンドブルー作図②			3
	3	レッドアンドブルー作図③			3
	4	2D設計①			3
	5	2D設計②			3
	6	3D設計①			3
	7	3D設計②			3
	8	BIM演習教科書			3
	9	BIM演習教科書			3
	10	BIM演習教科書			3
		[以下、講師:比嘉]			
	11	twinmotion基本的操作			6
	12	テクスチャ・環境設定など			6
	13	プレゼンアニメーション作成			9
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
25					
		科目単位数	1	合計時間数	51
教科書	Vectorworksパーフェクトバイブル 2018/2017対応A&ABIM演習/oasisラーニング動画				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%				
	課題1提出でB判定以上、課題2提出でA判定				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	インテリアコーディネーター試験対策	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	講義で学んだ知識を実践的にアウトプットし、解答力を高めながら知識を定着させ、幅広い問題に対応できる力を養う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・建築家、インテリアデザイナーの社会における立場を理解できる ・自己の作品を基礎的インテリアの観点からとらえることができる ・インテリアコーディネーター1次合格ができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	インテリア販売(インテリアコーディネーターの職能・職域/販売実務)			2
	2	インテリアの歴史(日本の歴史・西洋の歴史)			2
	3	インテリアの計画①(人間工学・寸法計画/住居空間の設計)			2
	4	インテリアの計画②(住居空間の設計/健康・安全のための計画/バリアフリーのための計画)			2
	5	色彩と造形			2
	6	家具①(家具の種類と機能/家具の材料と金物)			2
	7	家具②(家具の構造/家具の塗料)			2
	8	ウインドウトリートメント			2
	9	各種エレメント			2
	10	構造・構法①(建築の一般構造)			2
	11	構造・構法②(下地と仕上げ)			2
	12	構造・構法③(造作/建具)			2
	13	材料①(木材/金属材料/コンクリート)			2
	14	材料②(陶磁器・煉瓦/ガラス・プラスチック建材/石材・左官材料/塗料/カーペット・畳/壁紙)			2
	15	環境工学①(熱と湿気/換気と通風)			2
	16	環境工学②(音環境/光環境)			2
	17	住宅設備①(冷暖房・空調設備/給排水設備)			2
	18	住宅設備②(電気設備/サニタリーの設備機器/キッチンの設備機器)			2
	19	照明(照明の基礎/照明器具と照明計画)			2
	20	表現技法(設計図書の基本事項/インテリアの図面)			2
	21	建築関連法規(建築基準法/その他の建築関連法規)			2
	22	消費生活関連法規(消費者関連法規/その他のインテリア製品関連法規)			2
	23	確認テスト			16
	24	過去問試験			7
	25	模擬試験①-③			21
		科目単位数	3	合計時間数	88
教科書	株式会社 建築資料研究所 日建学院 インテリアコーディネーター1次対策講座 上巻・下巻				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	確認小テスト35%、模擬テスト35%、授業取り組み30%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	実習、講義	講義時期	通年
授業科目	インテリアコーディネート演習	担当者	前海佐季子	科目必修区分	必修
授業概要	①インテリアコーディネートの流れを実践を通して学習する。 ②インテリアコーディネートに必要な知識・スキルを実践を通して学習する。				
到達目標	①インテリアコーディネートの実務プロセス(ヒアリング～提案～見積)を理解する。 ②空間心理学等も応用した、根拠のある空間提案ができるようになる。 ③高齢者などの特定対象者に配慮した機能的なインテリア計画を立案できる。④自身のアイデアを視覚化し、第三者に効果的に伝えるプレゼンスキルを習得する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス・ICの役割:実務の流れと空間デザイン心理学の基礎(行動と環境の関係)			2
	2	ヒアリングとライフスタイル分析:顧客の潜在ニーズを引き出す心理学的アプローチ			2
	3	空間構成と家具レイアウト:動線計画と人間工学、居心地を作る距離感の設計			2
	4	キッチン・水廻り計画:設備機器の機能と、家事動線を考慮したプランニング			2
	5	課題①:指定された家族構成に対する家具レイアウトとゾーニング			2
	6	ショールーム見学①:キッチン・サニタリー住設・内装材・建材(床・壁・天井)の質感確認			2
	7	内装仕上げ材の選定法:素材が与える心理的影響(触感、視覚的質感)			2
	8	課題②:マテリアルボード作成:住宅のリビングを想定した素材の組み合わせ演習			2
	9	ウィンドウディスプレイと装飾:カーテン、ブラインドの種類と機能・心理効果			2
	10	小テスト①:前半(第1回～第7回)の知識確認・回答解説			2
	11	ショールーム見学②:照明計画の基礎:光源の種類と照度、シーンに応じた照明手法			2
	12	カラースキーム演習:色彩心理に基づいた空間のトーンと配分決定			2
	13	ICの実務:見積書の作成方法:積算の仕組み、見積書の構成と見方(実例解説)			2
	14	課題③:家具屋見学:見積・プレゼン資料作成:課題①に基づいた見積書と提案書作成			2
	15	小テスト②:後半(第9回～第14回)の知識確認・総括・宿題課題③の例を見る			2
	16	事前の高齢者施設の理解・コンセプトの考え方・予備:小テスト②			3
	17	現地視察・クライアントヒアリング			3
	18	コンセプトの考え方・プレゼンテーション構成			3
	19	事高齢者施設の理解・空間デザイン心理学の応用			3
	20	コンセプト発表練習・成果物ブラッシュアップ			3
	21	コンセプト発表			3
	22	作業・進捗確認			6
	23	プレゼン練習・成果物ブラッシュアップ			6
	24	最終課題発表			3
	25				
		科目単位数	2	合計時間数	63
教科書	「やさしいインテリアコーディネート」学芸出版社				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	授業態度10%、小テスト20%、課題・レポート提出物30%、課題発表40%(前半課題・後半課題コンセプト・最終) 学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	リフォーム学	担当者	照屋寛公	科目必修区分	必修
授業概要	リフォーム事例を通して設計要因を学び、地域環境や風土・文化を踏まえた設計力を養う。				
到達目標	①沖縄の気候風土を説明できる ②快適に住まう建築を計画・作図ができる ③永く住み続けるリフォーム建築の計画できる ④世界各地の人々がいかに地域建築文化を創ってきたかを理解し説明できる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	学生自己紹介、授業概要、到達目標説明 リフォーム・新築・風土文化			2
	2	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	3	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	4	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	5	演習①課題説明 エスキース①			2
	6	演習①課題説明 エスキース②			2
	7	演習①・発表(10名)			2
	8	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	9	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	10	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	11	演習②課題説明 エスキース①			2
	12	演習②課題説明 エスキース②			2
	13	演習②・発表(10名)			2
	14	リフォーム、新築の事例と風土文化			2
	15	総括講義			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	1	合計時間数	30
教科書	『記憶を刻む家づくり』(照屋寛公著・ボーダーインク刊)				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	授業態度20%、実習課題(毎授業レポート)30%、期末試験(演習課題2回)50%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	構造力学Ⅱ	担当者	新川清則	科目必修区分	必修
授業概要	建物が自立する仕組みを理解するため、荷重や応力、梁やラーメンなど構造力学の基礎を学ぶ。				
到達目標	1) 何故建物が自立しているか、力のつりあいと荷重の種類を理解し、建物に作用する応力を説明できる。 2) モーメント、単純梁・単純ラーメンのせん断力図・モーメント図・軸力図を正確に描くことができる。 3) 断面の性質を理解し、応力度の概念を説明できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	自己紹介・構造力学Iの復習			2
	2	断面の性質① 図心と断面1次モーメント			2
	3	断面の性質② 断面2次モーメント・断面係数			2
	4	応力度① 軸応力度・曲げ応力度			2
	5	応力度② せん断応力度、許容応力度			2
	6	座屈①			2
	7	座屈②			2
	8	中間テスト			2
	9	たわみ・たわみ角			2
	10	不静定構造①			2
	11	不静定構造②			2
	12	塑性解析①			2
	13	塑性解析②			2
	14	予備日			2
	15	期末テスト			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	2	合計時間数	30
教科書	(メイン)「図説やさしい構造力学」学芸出版社 (サブテキスト){やさしい建築構造力学 演習問題集}学芸出版社				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	授業取り組み20%、中間テスト40%、期末テスト40% 学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築構造設計	担当者	新川清則	科目必修区分	必修
授業概要	構造設計の進め方、鉄筋コンクリート構造と鉄骨構造設計などの概要について説明する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・建築一般構造と基礎構造力学の基本的な考え方を理解して、それを他の学生に説明できる。 ・構造設計に関する基本的な知識と技術を習得し、例題の解答例を他の学生に説明できる。 ・構造設計の実務の一部(鉄筋コンクリート造の配筋量算定や鉄骨サイズの決定等)が自分でできる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	構造設計の流れ 構造設計の進め方・方針 小テスト			2
	2	各荷重の理解 固定・積載・積雪・風・地震荷重			2
	3	鉄筋コンクリート構造① 鉄筋コンクリート構造の特徴			2
	4	鉄筋コンクリート構造② 梁応力と鉄筋の役割、主筋量算定			2
	5	鉄筋コンクリート構造③ 柱応力と鉄筋の役割、主筋量算定			2
	6	鉄筋コンクリート構造④ 梁・柱のせん断補強、せん断補強筋			2
	7	鉄筋コンクリート構造⑤ 床スラブ、鉄筋量算定 地盤と基礎			2
	8	中間テスト			2
	9	鉄骨構造① 鉄骨構造の特徴と材料、鋼材の性質			2
	10	鉄骨構造② 接合法 高力ボルト接合、溶接接合			2
	11	鉄骨構造③ 引張材の設計式 圧縮材設計式			2
	12	鉄骨構造④ 梁 H型鋼梁の横座屈、梁設計式			2
	13	鉄骨構造⑤ 柱応力と柱断面、柱の設計式、柱脚の形式			2
	14	鉄骨構造⑥ 接合部名称・接手・仕口の設計、柱-梁接合部			2
	15	期末テスト			2
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		科目単位数	2	合計時間数	30
教科書	(メイン)「図解やさしい構造設計」学芸出版社 (サブテキスト)「やさしい構造設計 演習問題集」学芸出版社				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	授業取り組み20%、中間テスト40%、期末テスト40% 学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	建築計画Ⅱ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	独立住宅以外の建築物ごとの種類・規模計画・導線計画・平面計画・断面計画・設備計画などその他関連用語を学ぶ。				
到達目標	①各建築物ごとの機能(必要諸室、ゾーニング、機能的つながり等)を大まかに説明が出来る。 ②2級建築士頻出する用語、数値を答えることが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	都市計画について			4
	2	集合住宅の計画 / (グループワーク以下GW)集合住宅事例リサーチ			4
	3	集合住宅事例発表 / 幼稚園・保育所の計画 / (GW)幼稚園・保育園事例リサーチ			4
	4	(GW)幼稚園・保育園事例発表 / 図書館の計画 / (GW)図書館事例リサーチ			4
	5	(GW)図書館事例発表 / 美術館・博物館の計画 / (GW)美術館・博物館事例リサーチ			4
	6	(GW)美術館・博物館事例リサーチ・発表			4
	7	建築事例 見学			6
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	科目単位数		2	合計時間数	30
教科書	図説やさしい建築計画(学芸出版)				
時間外学習	授業振り返りおよび、事前学習				
成績評価方法	期末テスト:50%、授業取り組み:20%、毎回のレポートおよびグループワーク課題提出:30% 学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	通年	
授業科目	総合学習Ⅱ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修	
授業概要	専門知識や技術以外の人間性を育み、社会人基礎力の3つの能力を育成する					
到達目標	3つの能力 ①「前に踏み出す力」、②「考え抜く力」、③「チームで働く力」					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	オリエンテーション			25	
	2	新入生歓迎球技大会			6	
	3	検定、学期末テスト			6	
	4	学内イベント			30	
	5	IA科展示会			18	
	6	卒制・進級制作プレゼンテーション			23	
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			3	合計時間数	108
教科書	特になし					
時間外学習	到達目標である「3つの能力」を意識して日々の生活を送る					
成績評価方法	授業取り組み100%					
	学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	志学Ⅱ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	志学を通して、働くとはどういうことか、業種や職種、仕事と責任、コミュニケーション等、前向きに就職活動が進められるよう働くための基礎を身につける。				
到達目標	①働くことの意味や業界の職種と内容について考え、将来像をイメージ出来る。 志高く生きた人々に触れ、社会人として能動的に行動するために考える力、伝える力を学び自分の志(生き方・あり方:目標)を立てる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	「志学Ⅰ」を振り返り、「志学Ⅱ」の学び方、学習目標と取り組みを理解する仕事のやりがいや大切なものを考える。自身が思い描く人生を歩むために、志(目標)を立てることの重要性と立てるために必要な事を学ぶ			3
	2	「志」高く生きた人々の生き方や能力に触れ、自身のロールモデル探しの参考にし、自身が目指す姿をより明確にする			3
	3	言葉の力(伝える力)を高め、自身の志(目標)を明確にし、実現するための土台を作る			3
	4	志学講演会			6
	5	課題を発見し解決に向けて論理的に考え、まとめる力を高め、自身の志(目標)の実現に向けて行動する土台を作る			3
	6	これまで学んできた「志学Ⅱ」を振り返る			3
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
		科目単位数	1	合計時間数	21
教科書	KBC学園 志学Ⅱ(オリジナルテキスト)				
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する				
成績評価方法	レポート・課題提出:30%、授業取り組み:70%				
	学校基準により4段階評価				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科(2年制) 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期	
授業科目	キャリアデザインⅡ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修	
授業概要	企業訪問や就職実務を通して、仕事の内容や責任、コミュニケーションを学び、前向きに就職活動を進めるための基礎を身につける。					
到達目標	①働くことの意味や業界の職種と内容について考え、将来像をイメージ出来る。 ②企業リサーチの手段を理解し、実践出来る。 ③面接対策、自己分析、電話応対など就職活動に取り組むことが出来る。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	インターンシップ振り返り・職業研究(建築、設計、施工、インテリア)・就職活動の進め方(求人票、応募書類等の見方)			5	
	2	採用、ビジネスマナーについて・社会人としての自覚と心構え			3	
	3	履歴書作成			3	
	4	面接目的の理解と初歩的マナー			3	
	5	合同企業説明会			3	
	6	校内企業説明会			3	
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	科目単位数			1	合計時間数	20
教科書	KBC学園就職活動の進め方(オリジナルテキスト)					
時間外学習	自己分析を行い、今後のキャリアプランを考え、企業リサーチの時間を設ける。					
成績評価方法	レポート・課題提出:30%、授業取り組み:70%					
	学校基準により4段階評価					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						